

平成 21 年度事業報告

特定非営利活動法人サイバー・キャンパス・コンソーシアム TIES

1. 事業の成果

特定非営利活動法人サイバー・キャンパス・コンソーシアム TIES (以下、「NPO 法人 CCC-TIES」という。)の設立の趣旨である「e ラーニングの手法と技術を活用して教育の改善・充実の実現」を目ざし、平成 21 年度は TIES を利用している教育機関に対して、①インターネットを活用した教育機関の教育的な連携を支援する TIES サポート事業、②帝塚山大学が幹事校として申請・採択された、平成 21 年度・大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム採択事業『北海道・関東・東海・近畿の大学連携による「知域」拡大プロジェクト』(以下、「戦略的大学連携 GP」という)の関係連携大学への協力支援、③e ラーニングによる教育改善を目指したシンポジウムや学生参加型のイベントの開催、④e ラーニングのためのコンテンツの制作と流通を促進するために『大学連携 e ラーニング TIES の教育改革』の出版、『流通概論 2009』の教材作成、⑤e ラーニングを活用した教育手法の研究を目的に、モバイルラーニングに関する研究を行った。

2. 会員加入状況報告

| 区 分 | 会 員 数 |
|---------|-------|
| 正会員(個人) | 28 名 |
| 正会員(団体) | 10 団体 |
| 情報会員 | 0 |
| 賛助会員 | 10 団体 |

3. 平成 21 年度の主な事業

【NPO 法人 CCC-TIES 事業目的】

特定非営利活動に係る事業

- (1) インターネットを活用した教育機関の教育連携を実現する支援事業
- (2) e ラーニングのためのコンテンツ・ソフトウェアの制作と流通を促進する事業
- (3) e ラーニングを活用した教育手法の調査研究事業
- (4) 上記の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助事業

その他の事業

- (1) 情報技術と情報コミュニケーション技術等を活用したコンテンツ・ソフトウェア・ハードウェアの制作・高付加価値化・流通・配信・出版・販売を促進する事業
- (2) システム開発・運用・保守の請負事業

【特定非営利活動に係る事業】

(1) インターネットを活用した教育機関の教育連携を実現する支援事業

① TIES サポート事業

平成 21 年度の新規事業として、インターネットを活用した教育連携を支援・促進するため、TIES を利用している教育機関に対して、授業収録の遠隔サポート、収録ビデオのインデックス追加、教材の登録、ヘルプデスク等の利用支援（有料）を実施した。その結果、TIES の教育的コンテンツが増加し、大学連携による教材共有と公開を促進することができた。

| 教育的コンテンツ | 平成 21 年 3 月 | 平成 22 年 3 月 |
|-----------|-------------|-------------|
| TIES 講義数 | 1,053 | 1,345 |
| 素材コンテンツ数 | 20,801 | 27,052 |
| ビデオコンテンツ数 | 3,212 | 6,181 |

② NPO 法人 CCC-TIES 夏のシンポジウム in 愛知

大学間における教育連携を促進するため、教育機関、行政機関関係者、企業関係者を対象に、『NPO 法人 CCC-TIES 夏のシンポジウム in 愛知』（主催：NPO 法人 CCC-TIES、共催：名古屋学院大学）を開催した。今回で 2 回目となる同シンポジウムでは、教育に携わる方々を顕彰する取組の一環として、発表者の公募、発表報告論文集の作成と配布など、本法人にとって初めての試みも行った。

| | |
|---------------|------------------------------|
| シンポジウムテーマ | ICT による大学連携と「知域」貢献 |
| 開催日 | 2009 年 9 月 7 日(月)、9 月 8 日(火) |
| 開催場所 | 名古屋学院大学 |
| 参加者 | 78 人 |
| 事例報告発表 | 7 事例 |
| ポスターセッション参加企業 | 5 社 |

③ Live 配信・後援

インターネットを活用した教育連携を支援・促進するため、明治薬科大学主催の「明治薬科大学 IT コンソーシアム 2009」に共催し、シンポジウムの広報・周知を行うとともに、ライブによるセミナー配信、収録支援、オンデマンド配信を実施した。

| | |
|-----------|------------------------|
| シンポジウムテーマ | 明治薬科大学 IT コンソーシアム 2009 |
| 開催日 | 2009 年 10 月 31 日 |

| | |
|------|----------------|
| 開催場所 | 明治薬科大学 |
| 参加者 | 57人(うちライブ参加5人) |

④ タイピングコンテスト、川柳コンテスト

TIES 利用大学の教育連携を促進するために、TIES を利用している教育機関の学生を対象に「全国大学対抗 TIES タイピング大会」(主催：NPO 法人 CCC-TIES)、「TIES 川柳コンテスト」(主催：戦略的大学連携 GP 教育資源の共有委員会、共催：NPO 法人 CCC-TIES) を実施した。

全国大学対抗 TIES タイピング大会

| | |
|------|---|
| 期間 | (予選)2009年6月22日(月)～7月10日(金) (決勝戦)2009年9月7日(月) |
| 参加大学 | 20校 |
| 参加者数 | 3607名 |

「NPO 法人 CCC-TIES 夏のシンポジウム in 愛知」の会場(名古屋学院大学)にて決勝戦を行い、上位校には本法人より表彰を行った。

TIES 川柳コンテスト

| | |
|-----|---|
| 期間 | (投稿期間)2010年1月6日(水)～1月26日(火) (投票期間)2010年2月1日(月)～2月15日(月) (結果発表)2010年2月22日(月) |
| 投稿数 | 44首 |

優秀作品2首を選抜し、帝塚山大学にて表彰式を行った。

(2) eラーニングのためのコンテンツ・ソフトウェアの制作と流通を促進する事業

① 『大学連携 eラーニング TIES の教育改革』の出版

eラーニングのためのコンテンツの制作と流通を促進し、IT を活用している教員の教育力を広報・顕彰するために、本法人にとって最初の出版物である『大学連携 eラーニング TIES の教育改革』を2009年8月に刊行した。この著書は、TIES を利用した9大学41人の教員と関係者による、教育現場におけるIT活用事例の共著であり、本法人が目指す「eラーニングの手法と技術を活用して教育の改善・充実の実現」に寄与することができた。

② 天津理工大学(中国)への講義教材の提供

大学教員の教育的コンテンツの制作と流通を促進するため、天津理工大学(中国)に対して、流通に関する基礎科目をビデオ講義とビデオ講義の書き起こしテキスト『流通概論2009』を制作して提供した。

| | |
|----------|--------------------|
| ビデオ講義提供者 | 大学教員:6名 民間企業関係者:2名 |
| ビデオ講義数 | 30回 |

(3) eラーニングを活用した教育手法の調査研究事業

① 「産経 e カレッジみんな de 大学 2009」

前年度に引き続き、大学教員の教育的情報発信の有効性と Web を利用した教育の可能性の調査・研究、そして知の拠点としての TIES 参加大学の教育力の広報と顕彰を目的に、「産経 e カレッジみんな de 大学」(主催:産経新聞社、共催:NPO 法人 CCC-TIES) を実施した。その成果は、「NPO 法人 CCC-TIES 産学連携「産経 e カレッジみんな de 大学」2009 の報告」『大学教育と情報』、(社)私立大学情報教育協会、Vol.18, No.4、2010 年 3 月、26-28 頁に掲載された。

| | |
|-----------|-----------------------|
| 開催期間 | 2009/08/04～2009/09/14 |
| 参加大学 | 18 校 |
| 参加教員 | 37 名 |
| 配信講義ビデオ | 119 本 |
| ユニークユーザー数 | 10,594 |
| ページビュー | 70,132 |
| ビデオ閲覧者 | 3,418 |
| ビデオ閲覧回数 | 9,252 |

② エリアワンセグ配信実証実験

モバイルラーニングの効果的な手法を調査研究するために、戦略的大学連携 GP に協力してワンセグ配信実証実験を行った。

(4) 上記の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助事業

① 戦略的大学連携 GP システム開発援助

戦略的大学連携 GP 事業推進に協力するため、当該事業連携大学に対し、TIES システムの機能を拡張するサブシステムの開発支援を行った。

| サブシステム名 | 開発援助依頼大学 |
|------------------|----------|
| 単位互換相互補完サブシステム | 帝塚山大学 |
| ビデオ問題作成サブシステム | 札幌大学 |
| 学士力判定試験サブシステム | 名古屋学院大学 |
| FD 支援・学生支援サブシステム | 愛知学院大学 |

| | |
|-----------------|------|
| 生涯教育サブシステム | 創価大学 |
| モバイルラーニングサブシステム | 創価大学 |

② 他組織連携

奈良 NPO センター、JOCW、NPO 法人電子自治体アドバイザークラブと IT を活用した教育手法と社会貢献に関して情報交換を行った。また TIES コミュニティと同様の目的意識を持った「大学 e ラーニング協議会」とも交流を行った。

3.その他の事業

- ① 情報技術と情報コミュニケーション技術等を活用したコンテンツ・ソフトウェア・ハードウェアの制作・高付加価値化・流通・配信・出版・販売を促進する事業

事業実施なし

- ③ システム開発・運用・保守の請負業務

事業実施なし